

島根県職員採用試験 実務員の特集

Special Feature

県職員の採用試験事情！

島根県職員採用大学卒業程度試験の制度が見直され、とても受験しやすくなっていることをご存知ですか？

最新の採用試験情報を知れば、「公務員試験は勉強が大変」「スケジュールが複雑」「併願がしにくい」などのイメージが変わるかも。

Point 01

4月試験は特別な公務員試験対策が不要！

4月に実施する大学卒業程度試験「行政 B」及び「技術 B」は、SPI3 を実施するため、民間志望の方も受験しやすくなりました。

- ✓ 教養試験の代わりに **SPI3** を実施。
- ✓ 「行政 B（面接重視型）」は専門試験が無く、**論文試験や面接試験で県職員として働く意欲をアピール**していただきます。
- ✓ 「技術 B」は専門試験の代わりに**専門口述試験**を実施。
- ✓ **6月試験との併願が可能。**

※技術 B の試験区分は実施年度により異なります。詳細は[受験案内](#)をご確認ください。

Point 02

6月試験の制度変更で、もっと受験しやすく！

解答方法の変更や試験日の短縮で、6月試験がもっと受験しやすく生まれ変わりました。

- ✓ 「行政 A」の**1次面接を廃止し**、試験日を**3日間に短縮**。
- ✓ 「農学（農業・畜産）A」、「総合土木 A」の専門試験が、全問必須解答から**選択解答に変更**。

チャンスは2回！

4月と6月の併願で、採用試験にチャレンジしやすくなりました。

島根県職員採用大学卒業程度試験は4月試験と6月試験の両方受験することができます。

- ✓ 例：4月「行政 B（面接重視型）」、6月「行政 A」の併願
- 4月「行政 B（面接重視型）」、6月「林業 A」の併願など